

ごあいさつ

「KAORUKOハウスオープン・上海万博出演記念」～その先のステージへ～

2010年は私にとりまして、激動の年となりました。

1月にあるご縁からKAORUKOハウスがオープンしました。

フラワーアーティストがウエディングプロデューサーとして手掛けるハウスウエディングはカップルの歴史や魂をお花で表現するオリジナルウエディングはもとより、花嫁のブーケとおそろいのお花のケーキやマカロンの色までもお花とおそろいにするオリジナルマカロン・・・思いはあふれ女性がかわいいと感じる夢のようなウエディングが誕生しています。

そして7月1日。光栄なことに上海万博にフラワーアーティストとして日本を代表して出演することができました。

日本産業館 横浜ウィークにおいての出演です。最近の私の活動と上海万博日本産業館のコンセプトがリンクしたのです。

「きれい、かわいい、きもちいい」という日本産業館が掲げたテーマをここでご紹介いたします。

～抜粋～

日本発の世界語になった3つの言葉が無国籍で時空を超えた自由な感覚や美意識として世界の人たちに受け入れられています。これまで「日本」といえば、「生成りの文化」「和の精神」「巧の技」などが強調する昭和的な日本論が中心でした。～中絶～世界も日本も変わりました。現在の日本を表現するのは世界語となった「きれい、かわいい、きもちいい」でしょう。それは超時代であり、単性的です。しかし、紛れもなく日本なのです。私たちはこれを「J-感覚」と呼んでいます。日本産業館は未来志向の新感覚で構成されます。日本産業館はそんな、新しい意匠をまとった日本の文化や様式の「J-感覚」を中国や世界の人たちにアピールします。

私は「かわいいフラワーショー」としてこの「J-感覚」をあますところなく表現してきました。表現の完結はKAORUKOのお花のドレスの誕生でした。欧米の女性はセクシー、スレンダー、スタイリッシュなウエディングドレスを好み社会の成熟とともに日本もやがてそうなるだろうという意見もありました。がしかし現代日本を見たときに日本のこの「かわいい文化」をつきつめたときに見えるのは日本が誇るアニメ産業であり、日本の女の子は幼いころから繰り返し「かわいいプリンセス」というテーマのアニメを見て育ちます。育まれたこれらの体験が大人になっても「かわいい」への憧憬が潜在意識にあるからこそ「かわいい」はもはや哲学であり文化となって浸透しているのだと考えます。上海万博のステージで発表した「KAORUKOかわいいお花のドレス」を含めたすべてのシーンを凱旋公演として本日のショーでご披露します。